

事業戦略の明確化および具体的なアクションの策定・実行

会社名 フジチギラ株式会社
 所在地 山梨県富士吉田市下吉田2丁目25番地26号
 従業員 5名
 資本金 2,000万円
 売上高 2億600万円
 業種 生地卸、繊維原料卸、製品OEM業

FUJICHIGIRA

支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 老舗商社として織物製造の全工程を熟知し、優れた機能を持つ素材(糸・テキスタイル等)の開発・商品化に取り組んでいる当社。
- 支援を通じて多機能性ウール素材の開発、商品化、マーケティング力を強化し、さらなる売上向上と収益率改善を目指す。

支援を受けてできるようになったこと

After

- 事業戦略、開発戦略の具体化と実践により、開発困難な多色化(低彩度+高彩度)を実現でき、光吸収発熱保温ウール糸(vanawarm:バナウォーム)が大手ファッションメーカーに採用される見通しとなった。また、多様なニーズに応えられるようになり、vanawarmを使った製品ブランド、warmfarm(ウォームファーム)の品揃が増加し、自社の販売店舗を構えるに至った。

今後の事業展開の展望

Future

- 大手ファッション雑貨等への納品数量の拡大、自社店舗による販売等により、事業成長、売上増が見込まれる。ウールの発熱という特徴を生かし、ブランド力を高め、新たな市場を狙った中長期的な開発にも取り組んでおり、策定した知財戦略に基づき、競争優位性をさらに高めていくことが期待される。

加速的支援を受けた事業や商材



- ・山梨県の保有する特許技術を基に、光吸収発熱保温ウール糸(vanawarm:バナウォーム)の商品化に成功。
- ・vanawarmはバナジウムのチカラで近赤外線を吸収し、従来ウールよりも高い発熱性と保温力を有する(左下図)。
- ・低彩度9色からスタートしたが、高彩度色の開発に成功し、vanawarmのカラーバリエーションが拡大した(最左図)。
- ・vanawarmを使用した製品ブランド warmfarm(ウォームファーム)の品揃が増加(左上図)
- ・ベンベルグ、パイル織物、裏地、ヘルスケア製品の開発を進めている。

【出典】フジチギラ株式会社ホームページ
<https://fujichigira.com/>



加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業戦略(ビジネスモデル)の策定と具体化	<ul style="list-style-type: none"> 従来のBtoBビジネスとは全く異なる顧客ターゲットに対し、BtoCビジネスを行う上でビジネスモデルの構築と事業戦略の具体化が必要である。
販売・マーケティング戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> 商品毎に顧客ターゲットを設定し、競合商品との差別化を見える化する必要がある。 ビジネスモデルの実現には、マーケティング戦略の構築が必要である。
ブランド戦略の策定と地域ブランドの確立	<ul style="list-style-type: none"> 多機能性ウールの知名度が低く、ブランド戦略の策定・実行と、地場産業としての地域ブランドの確立が必要である。 BtoCビジネスを進めるにあたり、商品価値の整理と今までとは異なるブランディング戦略が必要となる。
知財戦略の策定と知財契約管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 高彩度多機能性ウールや、BtoCビジネスを実現する開発技術・ノウハウの知財化が必要である。 ライセンス契約、秘密保持契約等、外部パートナーとの契約が必要となる。 保有知財は商標のみであり、特許・意匠権を取得し知財を経営資源として活用する発想が必要である。



加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
事業戦略(ビジネスモデル)の策定と具体化	<ul style="list-style-type: none"> 光吸収発熱保温ウール系「バナウォーム」及びそれを使用した製品ブランド「ウォームファーム」の開発を成功させ、開発戦略・販売戦略をアクションプランに落とし込み、販売展開を推進できた 	知財戦略専門家 中小企業診断士
販売・マーケティング戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> 取引先との交渉の推進、製品企画の明確化、プロモーションの強化等を行い、販路開拓・マーケティングを具体的に実行した。 	中小企業診断士 商品開発デザイナー
ブランド戦略の策定と地域ブランドの確立	<ul style="list-style-type: none"> 自社の独自性を入念に分析・可視化した上で、イベントによる認知度向上、製品バリエーションの充実、HP改修等、ブランディングを進めた。 	中小企業診断士 WEBデザイナー
知財戦略の策定と知財契約管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 権利化とノウハウ化の両輪による知財の基本戦略を策定した。参入障壁についても検討を行った。 意匠出願、商標権の譲受を行った。 山梨県産業技術センターとの連携、共同開発を経て特許取得のプロセスを習得できた。 	知財戦略専門家

支援チーム紹介

主担当専門家:知財戦略専門家 中隆廣

活用専門家:知財戦略専門家、中小企業診断士、商品開発デザイナー、WEBデザイナー

知財総合支援窓口担当者:山梨県知財総合支援窓口 荒川 修一

PO(プログラムオフィサー):田中正男